

広報特別委員会記録

令和4年3月2日

【開催日】 令和4年3月2日（水）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後2時30分

【出席委員】

委員長	森山喜久	副委員長	福田勝政
委員	大井淳一朗	委員	奥良秀
委員	笹木慶之	委員	中岡英二
委員	宮本政志		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

事務局次長	島津克則	議事係主任	原田尚枝
-------	------	-------	------

【審査内容】

今後の広報活動について

午後1時30分開会

森山喜久委員長 皆さんお疲れ様です。ただいまから広報特別委員会を開催いたします。まずマイチロアプリについてですが、2月15日号の議会だよりを15日当日にアップすることができました。また、令和3年度の議会だよりも、バックナンバーとして閲覧可能となっていることを併せて報告させていただきます。そして議会だよりの進め方について、3常任委員会と協議という形で、委員長には報告しているという状況になります。一方、広聴、デジタル化推進特別委員会とも協議をしていきたいと思っておりますが、現在広聴特別委員会からは、まだもう少し時間が欲しいということで、今現在まだちょっと広聴特別委員会を交えた協議はできていないというふうな状況になっております。そして本日、付議事項として、今後の広報活動についてという議題を示しておりますが、F

Mスマイルウェーブの情報収集の結果を示しながら、協議をしていきたいと。その中で市の枠の中になりますけれど、令和4年度の出演希望の調査が上がってきておるようなので、それを活用できるのかというところを確認していきたいというふうに思います。すみませんが、事務局から現状の報告をお願いします。

原田議会事務局議事係主任 FMスマイルウェーブについてなんですけど、ちょっと執行部とも再度確認をしたところ、最初シティセールス課は、議員に出てもらってもいいですよということだったんですけど、いろいろ話を進めていく中で、やはり執行部の中でも議会活動と議員活動について、市民から見て議員が出ると線引きがちょっと難しいとか、議員の出演に疑義が出てきました。ここにいると、議員活動とか議会活動の線引きがある程度分かるんですが、事務局の中で話をしまして、議員たちが話すところはどこまでが個人的な内容で、どこまでが議会活動としての内容かというところを判別するのはちょっと難しいかと思っています。前回委員会でも話が出ていましたけど、そこの視点はちょっと事務局としても意識が最初薄かったかなと反省しております。FMスマイルウェーブ自体は、録音対応自体は一切行わないということになっております。前回ちょっと懸念をされておりましたけど、そこも含め議員の出演は難しいのかなというところはあります。議員の出演には疑義があるようですが、私たち事務局の職員は市の職員ですので、事務局の職員がホームページやフェイスブックとかに掲載してある定例会の内容や傍聴の仕方、議会中継のお知らせ等をするには問題ないということでした。現状はそういうことです。

森山喜久委員長 前回も録音ができないのかと話もあったんですけど、そちらは一切できないということで事務局から報告がありました。皆さん方から御意見とかありますか。

宮本政志委員 事務局にちょっと確認したいのが、議会活動、議員活動の線引

きは難しいと言われました。分かるんだけど、例えば、議会だよりで委員会レポートを作っていますよね。あるいは、議会報告会ではそれぞれ3常任委員会がパワーポイントで説明していましたよね。単純にそれを例えばラジオで読むことは、これはもう議会活動で、議員個人の主観とか一切入りませんから、その点はクリアできませんか。

原田議会事務局議事係主任 あくまでも議案の内容の説明とか、そういう議会の報告ではなく、前提としているのがイベントのPR、制度のPR、お知らせ的なものを行うところです。なので、議案の報告とかは想定されてないかなと思っています。

宮本政志委員 そうするとさっきは議会活動と議員活動の線引きが難しいから、市の枠のラジオの出演は難しいというふうに僕は受け取ったんだけど、今のでいくと、シティセールス課が本来何のためにラジオやっているのか、その趣旨に議案の報告とかするのがそぐわないというふうに受け止めたんですが、どうですか。

原田議会事務局議事係主任 今宮本委員が言われるように、議案の報告とかをするのは議会活動なんですけど、それは議会報告会とかですべきものだと思います。もちろん議会の議案の報告とかも、市民の皆さんにお知らせすべきことだと思うんですけど、ホームページとかで行う、一般的なこういった定例会を何月何日から行いますとか、傍聴とかは、こういうふうにしたらできますよとか、議会の制度としてこういうふうなことがあり、こういう流れでこういうようなことをやっていますとかいう、PR活動に近いものをイメージされていると思います。議員活動と議会活動というのは、前回も言われましたけど、やはりラジオに行かれてお話をされると、個人的なことや感想的なものも聞かれると思うんですよね。いろんな方もいらっしゃると思いますので、受け取り方といいますか、ある人はこういうふうに思っていたけど、違う人からしたら、いやいや何かこういうふうに思うんだけどということもあるかと思います。そこがやは

り生放送で、突発的に難しいところもあるのかなというのは思っております。

宮本政志委員　そうすると、ラジオというツールを今から作っていくのか。そのラジオを活用するとしたとき、例えば、シティセールス課が持っている枠が使えないのであれば、議会として議会専用のそういうFM番組を持とうじゃないかっていう議論も出てくるかもしれないですよ、予算も関係してくるけど。そうすると、そういうツールの話が進むのであれば、ルール決めもしていけないといけないので、FMラジオの活用というのは議論を深めていくべきでしょうし、それに4月からの活用というのが難しいというのもあるでしょう。その辺りをもう1回説明してください。

原田議会事務局議事係主任　ちょっと執行部の中でもその辺の線引きが、正直はっきりできていなかったという話も聞きましたので、議員が令和4年度にラジオに出るのは、もう3月ですので難しいのかなと思っています。事務局の職員が年に何回か出て、定例会のお知らせとかホームページに書いてある内容のお知らせですけど、それをアナウンスしに行くことは可能だと思っています。宮本委員が言われましたけど、もし新たに議会として何か枠を持ちたいということであれば、もちろん予算の問題もありますし、先方と物理的にそういったことが可能なかどうかということもお話をしないといけません、全くそういった動きはしておりませんので、その辺をまず少しずつ調査をしていくことは可能だと思います。

奥良秀委員　先ほど委員長から、広聴特別委員会は時期が早いとのことで、少し待つてほしいということでしたが、デジタル化推進特別委員長はどういうふうな見解だったのでしょうか。

森山喜久委員長　デジタルの委員長とは個別に協議というふうな形ではなく、

交渉を踏まえて協議をしようというふうに考えておりましたので、まだ実際に個別に協議の相談はしておりません。取りあえず、今のFMスマイルウェーブの関係でちょっと御質問があれば、お願いします。

中岡英二委員 先ほど事務局から話がありましたが、3月4日までに各課でまとめなければならないと。そうした中で、議員活動、議会活動の線引きが難しいのであれば、事務局の出演はできると言われました。令和4年度は事務局で出演してもらってもいいんですが、やはり先ほど言われたように新しいツールとか活用していこうと思ったら、ちょっと時間がないと思います。そうした中で令和5年度に向けて、こういう新しいツール、議会活動と議員活動のルールづくりというのを考えて検討していくべきじゃないかなと私は思います。以上です。

森山喜久委員長 一旦整理するならば、今まで議論がありましたように、令和4年度について、私たち議員自らが行くのはちょっと困難ではあるけれど、やるならば議会事務局の職員での対応と。実際、どのような形で放送するのかというのも、今、やはり市の執行部自体も見えてなかったところもあるかと思えます。令和4年度は議会事務局に申し訳ないんですけど、たしか10分程度の出演だったと思うんですけど、生放送に参加していただいて、定例会のアナウンスとか傍聴の仕方を含めたPRを年4回程度試してみるのはいかがでしょうかという話になるかと思えます。各定例会でそういうふうなアナウンスをしていくような形でもっていくのか、1回でもやっていくような形のほうがいいのか。この度、令和4年度のFMスマイルウェーブに、議会として参加してみるかどうかというところの御意見を頂きたいんですが、よろしいですか。

宮本政志委員 いきなりそれを言われても、例えば、事務局がラジオ番組に出るとしたときに、週に何回出る予定でいるのか。年間とか毎月の回数とかも分からないし、今日の付議事項は今後の広報活動についてですから、事務局に何回お願いしますだけだと、広報特別委員会で広報活動のこと

を議論したことにならないですよ。どういう内容を事務局にラジオで伝えてもらうか。それを委員会で決めていく、それを通年で決めるのか、その度に決めるのかということも、どれぐらいの回数を想定しとるかも分からないので、ちょっと議論のしようがないと思うんですよ。

中岡英二委員 3月4日にならないと、議会としてどれくらいFMスマイルウェーブに出演できるか分からないんじゃないですか。

原田議会事務局議事係主任 あくまでも希望を上げるための締切日であり、その後には執行部で調整をするので、上げたからと言ってその日にピンポイントは入れるか分からないですし、あくまでも手を挙げるだけです。日にちの調整とかの相談はあるかと思いますが、そこの決定権はうちには全くありません。すごくイベント事が多いところとか、市民との関わり合いが多いような部署とかは、とてもたくさん出演している部署もありますし、どちらかというとも市の内部的な業務とか、統制的な業務とかをしている部署は、市民にPRするようなことがないので、そういったラジオに一切出ない部署もあります。出ても年に1回とか2回でいいよという部署もあるので、課によってバランスを取るわけじゃないですけど、そこはもうちょっと他課が口を出せるところではありません。なので、あくまでも目安として、定例会ごととか、定例会の前とかいうような形にはなるかと思えます。

森山喜久委員長 放送日時 of 予定の時間帯とかも含めて説明をお願いします。

原田議会事務局議事係主任 放送は、基本毎週木曜日の12時から12時半までです。今年度までは木曜日の12時半から1時までだったんですけど、来年度から新コーナーを作るということで、番組が1時間に拡大されるようです。このPRのコーナーは12時から12時半までで、出演時間は10分程度で、1日2部署の出演というふうになっております。

森山喜久委員長 それと祝日や年末年始とかはどのような形になりますか。

原田議会事務局議事係主任 祝日や年末年始の放送はありません。

森山喜久委員長 毎週木曜日ということで、市の枠で年間でいえば50回ないぐらいの回数になるかと思います。

笹木慶之委員 今、いろいろ議論がありますが、まず決めなくちゃならんのは、どんな内容をPRするかということなんですよ。どんなものがあるかから入って行って分析していかんと、先ほど事務局が言われるように、議員個人に係るような問題等については、もちろんこれは関係ないわけで、かといって市民にお知らせするとき、本当に必要なものかどうかも踏まえて判断しないとイケない。だから、まずどんなものがあるかを分析しながら、そして、それをうまく年間で割り振っていくということになるんじゃないですかね。だから、いろんな角度から見て、これが必要だというものを、まずリストアップしていかないと回数のお話にいかないと思うんですが、どうでしょうかね。

森山喜久委員長 そうですね。枠を取っても実際放送する内容がなければということですね。

宮本政志委員 さっき市の枠が何回取れるか分からないと言われたけど、何日前に枠が取れましたよと連絡があるんですか。

原田議会事務局議事係主任 何日前じゃなくて、多分4月の頭に一括で年間の行事予約を出すんですよ。もちろん放送局の予定もあるかと思うので、3月末に全部出すと思います。少しずつ少しずつ何か月か置きに出すんじゃなく、年間のスケジュールをばんと示します。なので、前年度末に出さないといけないルールになっています。

森山喜久委員長 令和4年度のスケジュール全て把握して、調整するという
ことでよろしいんですかね。

原田議会事務局議事係主任 そうです。（発言する者あり）この度、希望を出
して、この日に出演できますというのが分かるのは多分、この3月末か
4月頭ぐらいになると思います。

森山喜久委員長 ですから逆に言えば、この度、例えば、5月、8月、11月、
2月に、それぞれ市議会として入れたいというふうに要望しないと、枠
はないということの理解でいいんですかね。

原田議会事務局議事係主任 そうです。基本、毎週木曜日のピンポイントにど
こに入れたいかというのもあるかと。2月というんじゃなくて、2月2
2日と指定し、被れば交代というか変更かみたいな感じで調整はしてく
ださるんだと思いますけど、そういった形で日にちを狙い撃ちで年間こ
ことこことここということで出すようになります。

森山喜久委員長 逆を言えばこっちが要望をしても、時期はずれる可能性があ
るとということ。その辺の調整は、また担当課とやる形なんですかね。

原田議会事務局議事係主任 そうですね。そのかぶったところと、希望した日
にちの前後で調整するようになるかと思います。

大井淳一朗委員 いずれにしましても、希望を出す上で、どういう内容、日程、
回数を決めておかないと。今、話に出ているのは、定例会の案内、あと
議会報告会、これはオンラインになる可能性もありますが、その告知を
やるということを、今日は決めてその希望を出して、何回できるかはま
た後日分かるということですね。中身は、そこから詰めていけばいいと
思うんで、一応、どういうことを発信するかは、今日決めておいたほう
がいいと思います。

原田議会事務局議事係主任 発信する内容も大まかには原課も知りたいかと思うんですけど、そんなに直前でなければ変更することも可能だと思います。大まかにこういったことというのを出しておけば、大丈夫だとは思いますが、日にちも決まっていませんので、がちがちに決めなくてもいいです。

大井淳一郎委員 例えば4月だと本会議が終わっていますので、議会報告会の告知になると思います。それから、定例会の月であれば、定例会の案内ということで、基本的にこの二つがPRできる内容ではないかと思います。それ以上のことは、また来年度に中身を決めていけばよろしいかと思います。以上です。

森山喜久委員長 議会報告会の告知と定例会の案内というのは、同時にするイメージですかね。

大井淳一郎委員 定例会の案内はどうしても定例会の月になるだろうし、議会報告会は定例会の翌月ぐらいになるかと思いますが、いずれにしてもやるときの直前というか前になるんで、時期はずれると思います。

森山喜久委員長 定例会ごとに4回ということなんで、最大で8回の要望をしてみると。ただ、臨時会は日程が、多分確実にならないと思います。

笹木慶之委員 議会だよりの中で、次回の議会の招集の予定はもう出していますよね。だから、議会の開催の予定については、そういったことを踏まえたものになるだろうということですよね、当然のことながら。むしろ議会報告会については、市民の皆様がいつやるかのか御存じじゃないわけですから、今私が思うのは、その辺が主になるんじゃないかなという気がするんですけどね。それから、臨時会についても、むしろ臨時会は広報する方法がないから、しておいたほうがいいんじゃないかなと。

日程的にできなければ別やけど、どうですか。

原田議会事務局議事係主任 もともと定例会のお知らせをしようと思って入っていたけど、その前に臨時会も入ってきて臨時会のお知らせとかもできるのであれば、併せてそれはできるかと思います。しかし、臨時会はあくまでも急に何かあるから行われることなので、来年度の臨時会の予定は全く私どもまだ分かりません。それを見越して予定を立てることは、定例会自体も6月定例会でさえ日程が未定なので、あくまでも予測になります。

笹木慶之委員 今は予定を盛り込むためのお願いでしょ。実際に放映するときには、内容が変わってきますよね、今から原稿を書くわけやから。例えば6月定例会のことでも、今どうこうできないじゃないですか。そこまで今、出せと言うんですか。

原田議会事務局議事係主任 定例会のお知らせとかという、ざっくりとした内容しか出せないと思うので、臨時会はあるかどうか分かりませんし、定例会は必ず6月、9月、12月、3月があるので大体の時期を見越せると思うんですよね。なので、もしほかに臨時会やほかに議会としてホームページとかでお知らせしているような内容でお知らせすべきものがあるのであれば、一緒にPRするのは可能だと思います。なんですけど、ある程度のPRの放送内容を出すようにはなっていますので、細かい内容は変えてもいいと思うんですが、大ざっぱでもどういったことをするかということが執行部も分からないと、なかなか調整もできないと思います。

笹木慶之委員 それなら、少なくとも4回の定例会あるわけですから、その定例会のところに定例会だけじゃなしに、定例会及び議会のお知らせとすればいいわけ。大抵は入れることができるんじゃないですか。

宮本政志委員 今、笹木委員と同じなんやけど、例えば年に8回、議会として要望しようとする場合に、もう全部議会のお知らせでは駄目なんですか。

原田議会事務局議事係主任 その辺の細かい表記の仕方がありますが、一応、内容欄がありますので、そこをどこまで許容してもらえるかっていうのは、ちょっと確認してみないと分からないです。

森山喜久委員長 確認なんですけれど、3月4日までにこちらから希望日とか放送内容をやっぱり示さなければいけないと。8回なら8回分の希望日はいつで、内容としてはこういう内容ですよと示すということになるんですかね。

原田議会事務局議事係主任 日にちは、確実に示さないと同様も予定が組めないと思います。内容は、特に後半とかだと（仮）とかという形で出されているところもあります。議会事務局が出るけど何をしゃべるのか分からない状態だと同様に困ってしまうので、調整するとき、議会の定例会のお知らせとか、そういったものを出せるのであれば、ある程度、出していたほうがいいかなと思います。

森山喜久委員長 ここで換気も必要なので、暫時休憩しましょう。

午後2時休憩

午後2時12分再開

森山喜久委員長 それでは委員会を再開いたします。今FMスマイルウェーブの関係で議論をしておりますが、令和4年度について、市議会として申込みをしていくかどうか。この申込みをするならば、事務局の職員に出してもらおうというふうな前提条件になりますが、事務局に出してもらおう前提条件でFMスマイルウェーブにエントリーをしていくかどうかを諮りた

いと思います。

中岡英二議員 令和4年度に限って、議会事務局でFMスマイルウェーブに出席してもらうのは賛成です。

森山喜久委員長 ほかにはよろしいですか。令和5年度以降はまだ分かりませんが、令和4年度についてFMスマイルウェーブに参加すること、事務局に出ていただくことで異議はありませんかね。（「なし」と呼ぶ者あり）では、令和4年度のFMスマイルウェーブにエントリーしていくということでお願いしたいというふうに思います。あと回数と内容になりますが、こちらの回数について様々意見はありましたが、基本ベースはやはり定例会になると思います。定例会を基準にして、先ほど出ていた意見をまとめれば、事前の告知と、その後の報告というふうな形が今、多く出ていたのかなと思います。それでいえば、最大で年8回求めるような形になるかと思いますが、皆さん方はどうでしょうか。

大井淳一郎委員 その報告というのがちょっと分からないんですが、今出ていたのは定例会のお知らせと議会報告会のお知らせという意味でよろしいですね。（発言する者あり）委員長言われるように年8回の希望を出して、それで何回出演できるのか、それでよろしいかと思います。

森山喜久委員長 議会報告会の関係の報告というふうに言ったつもりでした。今年8回というふうな話ありましたが、ほかに御意見ありますか。

大井淳一郎委員 それでは年8回の希望を出すようにします。日にちは事務局に任せていくようにしたいと思いますが、いつでもいいというわけにはいかないと思います。定例会の前ですので、3月であれば2月ぐらいだけど、次回だったら6月頭ぐらいになるでしょうね。議会報告会は、定例会が終わった後ですから、その翌月の中旬か下旬になってくると思います。その辺で希望を出したらよろしいかと思います。年8回ぐらいで

すね。それをお願いします。

森山喜久委員長 その辺の日程の調整をというか、例年の日程から時期を鑑みて出していただくことはできますかね。

原田議会事務局議事係主任 ちょっと、最近イレギュラーな形で定例会がある場合もありますけど、定例会は例年なら大体この辺から始まって終わるという日程の枠がありますので、そこを鑑みて、その前後で希望日を出すことは可能だと思います。

森山喜久委員長 それでは今年8回というふうにありましたが、あくまでエントリーすることなんで入れない可能性もあると理解していただきたいと思います。年8回ということによろしいでしょうか。（「なし」と呼ぶ者あり）異議なしということで、FMスマイルウェーブについて定例会の前と後の計8回で希望を出すことを決定したいと思います。あと告知の内容ですが、今定例会の前ということで定例会の案内を含めた内容と定例会の後は議会報告会の開催を含めてという話も先ほどありましたが、それ以外に皆さん方から、これを入れなきゃいけないというのがありますか。

宮本政志委員 その辺り内容は先ほど、議員の関係とかはよろしくないとか、いろいろあったんで、私らがこれを入れてくれと言っても駄目かもしれないし、あるいは駄目と思って言ってなかったらよかったということもあるんで担当課と事務局とすり合わせしてもらって、またそれ伝えてください。それを前提に、どういう内容を盛り込んでいくか、どういうことを入れてもいいということはちょっと分からないですね。

原田議会事務局議事係主任 その内容については、大まかに定例会のお知らせとか議会報告会のお知らせということを入れておいて、細かな具体的にそんな話をしていくかということは、もちろんシティセールス課とも相

談しながら、委員会の中でこういったことを盛り込んでほしいとか、こういう話はできないかとか、こういうことは市民の方は知らないんじゃないかとかという話があると思いますので、その点についてはまたラジオの出演が決まりましたら話をしたいと思います。

森山喜久委員長　そういう形でFMスマイルウェーブの件は進めていきたいと思えます。今日、委員会でこのFMスマイルウェーブについて確認させていただきましたが、それ以外で皆様方から御意見はありますか。

宮本政志委員　今言われた広報活動で、FM以外のツールでほかに何があるか出してください。あるいは議会だよりのことに関しても、当然広報活動で、「今後の広報活動について意見を出してください」と言われても幅広く出てくるような気がするんです。強いて言えば、広聴特別委員会の委員長との打合せに戻りますけど、最初に打合せのお願いをしたら少し待つてほしいと広聴の委員長に言われたと言われましたよね。ちょっと、二つお聞きしたいんだけど、今の広聴特別委員会の状況となぜ待つてほしいと言われたのかをお聞きしたいなと冒頭に思ったんやけど、どうですかね。

森山喜久委員長　ちなみに、事務局から広聴特別委員会の状況報告はできますかね。

島津議会事務局次長　今、広聴特別委員会で決めているのは、恐らく3月の議会報告会は、たしか中止だったと思います。その代替措置として、動画を作ろうという話が委員会で出ていたと思います。委員会の中では、委員会ごとに議案三つぐらいで15分程度の読み原稿とパワーポイントを作っていて、それを録画してユーチューブに流してはどうかというようなところまで話があったと思います。

森山喜久委員長　広聴特別委員会でもまだ議論が進んでいないということで、

議会報告会についても何をしていくのか、まだまとまってないので、少し時間が欲しい、待ってくれという話でした。

大井淳一郎委員 広聴との連携で考えられるのは、今、オンラインで、面前での議会報告会は中止ということで、オンラインというか議会報告会のパワーポイント等を使ってユーチューブでやるということが今進められているようです。そのことを踏まえた告知を今、先ほど話のあったFMスマイルウェーブの中でするということになるし、また、これはまだ皆さんと話し合っただけなさいませんが、議会だよりの紙面を使って、PRするという形が考えられるんじゃないですかね。連携するところで考えられるのは、その辺りかと思います。以上です。

森山喜久委員長 そうですね、先般も出ていましたフェイスブック等での告知も含めて言えば、デジタル化推進特別委員会も踏まえて、3特別委員会でも協議を進めていかなさいいけないというところなんです。前回から宿題になっていますが、ちょっとそれが進んでおらず申し訳ないんですけど、こちらについては再度、両委員長、副委員長にも話をして進めていきたいというふうに思います。すいません、ざっくりとした委員会の次第にして、申し訳なかったです。また、他の特別委員会と3常任委員会の状況を踏まえた上で、ある程度目安ができたなら、また広報特別委員会の中でお諮りしながら、また進めていきたいと思います。

奥良秀委員 その都度と言われたんですけど、もうFMスマイルウェーブでの告知の枠が取れるか取れないか、いつ取れるか分からないですよ。仮に枠を8回取った場合は、議会報告会を4月ぐらいには、もう告知しなくちゃいけないですよ。今の流れでいけば、そういった内容ももう詰めていかないといけないんで、その辺も早く決めたほうがいいんじゃないですか、できるかできないかは別として。

大井淳一郎委員 そうですね、奥委員の言われるとおり、定例会の告知よりは

先に議会報告会の告知で、面前での議会報告は中止だけど、広聴特別委員会ではオンラインでの議会報告会をやろうとします。オンラインの議会報告会は初めてなので、市民の皆様にお知らせするために、FMスマイルウェブというツールを使って告知をするということになります。奥委員が言われるのは、その内容も喫緊で内容を詰めておかなきゃいけないのではないかという意見だったと思います。冒頭に委員長が言われたように、オンラインでやることは決めたものの、まだいろいろ試行錯誤されておるので、かちっと決まらないと連携も取れないと思います。うちはうちで、もう報告できるものがあればなんですが。

島津議会事務局次長 確かにおっしゃるとおり、先ほどもオンラインでやったほうがいいんじゃないかというところで、まだ広聴特別委員会でもしっかりとは決まっていらないはず。次回の委員会等で、実際出てくるかだと思います。事務局としたら、最初はやっぱりきっちり定例会のお知らせとか、決まっているところから入るのがやりやすいのかなと思います。例えば、4月中旬ぐらいにすぐ、しかも、どうなるか分からない議会報告会とかの告知から先に入るよりも、定例会の告知から入って、そこで動画の紹介もしてもいいので、やるのなら最初は6月定例会のお知らせから入るほうがやりやすいかと思います。

森山喜久委員長 6月定例会ということで5月半ばぐらいというイメージでよろしいですかね。（発言する者あり）そうすると年7回の希望になりますね。

福田勝政副委員長 FMスマイルウェブのエリアは山口県全部ですか、それとも山陽小野田市だけなんですか。

大井淳一郎委員 下関市は厳しいと思います。でも、埴生は入ると思います。宇部市の厚南地区は大丈夫でした。西岐波まで行くと駄目だと思います。美祢市は駄目かな。厚狭北部は行けるか行けないかぐらいだったという

認識ですね。

福田勝政副委員長 山口県内他市でこういうふうにラジオを使っている市があるんですか。

森山喜久委員長 その辺の情報を事務局は持っていますか。

原田議会事務局議事係主任 調べていないので分かりません。ですが、ちょっと方向がずれるかもしれないですけど、委員会や議会の中継をラジオや、本市はないんですけどケーブルテレビとかで枠を持っていて流しているところがあります。（発言する者あり）ラジオであれば音声だけで本会議の中継を流しているというところもあります。こういったPRとかを、他市の広報関係の部署がやられているかどうかというのも私どもは把握もしていませんし、そういう調査もしたことがないです。

笹木慶之委員 先ほど来ありましたように、議会報告会はしないけれども、それに代わるべきものについて広聴特別委員会の中で議論されておるということですが、我々がどうこう言うわけじゃなしに広聴特別委員会で決定されないと方向性が決まらんでしょ。

島津議会事務局次長 恐らくで申し訳ないんですが、委員会にパワーポイントとかを頼むということであれば、委員長にもお話があるでしょうし、議員の皆様方のそろっているところで連絡はあると思います。

笹木慶之議員 でないとできませんよね。そして、広報特別委員会ではそれを受けて、今のFMスマイルウェーブでお知らせするとなるんですよ。

島津議会事務局次長 今、広聴特別委員会で話し合われているのは、今まで議会報告会のために、各常任委員会でパワーポイントや読み原稿を作っていたと思います。あれを、今までの3倍分作ってほしいということをお願い

まれると思います。

笹木慶之委員 我々がそのことを何も言えないし、分からんじゃないですか。

広報特別委員会とすれば。だから、その方向性が見えないのに、その先の議論をしても無理じゃないですか。

島津議会事務局次長 今、議論しているのは、あくまでもFMスマイルウェブでの議会のPRとかイベントの紹介とか、議会の仕組みをお知らせするとかいったお話をしていますので、直接、議会報告会に代わる動画の内容については、特に影響するものではないと思います。

笹木慶之委員 だから今それを言っているわけで、話はそちらのほうに行けないようにして止めていかないと。あくまでFMスマイルウェブのことだけにしておかないと、内容的に違うものが入ってくるから言ったわけ。

宮本政志委員 広聴特別委員会が今から議会報告会の代わりにユーチューブをどうこうというのを、これは広聴特別委員会で決まった以降、FMの番組の中で、こういうことが始まりましたよとお知らせするだけです。先ほど次長が言ったのは、仮に4月の中旬に枠が取れても、はっきりいつからちゃんとできるか分からないことは言えないということだと思えます。

島津議会事務局次長 通常、議会報告会は4月末にやります。今までの議論を聞いていますと、8回枠を取るということは4月中旬ぐらいにはもう枠を取って、議会報告会の御案内をするとなったときに、議会報告会の代わりに動画を取ることが決まっていて、その御案内をするにしても、まだしっかり内容が決まっていないうし、いつから配信するかも分からないので、そこを第1回目とするよりも、もうしっかり決まっている6月定例会の日程等の紹介とかPRをするのを第1回目にしてはどうかと言っただけです。

笹木慶之委員 だから、そこの念を押したわけ。そうすると8回が7回なるわけですね。

森山喜久委員長 今言われたように1回目が4月中旬という形で、当初の8回と言ってしまいましたが、あくまでも6月の定例会の告知からということで、令和4年度で言えば最大7回の申請になるのかなと思いますので、ちょっと訂正させていただきます。すみません。いろいろ進行があちこち行っていました。日程調整や内容を議論していかなきゃいけないところも明らかになりましたので、そちらを改めてしていきたいというふうに思います。それでは以上で広報特別委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後2時30分 散会

令和4年（2022年）3月2日

広報特別委員長 森 山 喜 久